

夏まるかじりツアー②

8月7日(土) ~ 8月9日(火)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	川遊び	ナイトハイク
2日目	野外炊飯	野外炊飯	キャンプファイヤ
3日目	清掃・思い出K	施設を出発・解散	

一日目： 快晴の中いよいよ、『夏まるかじりツアー②』が始まりました。尼崎で全体集合とし、グループ分けの後は、やや緊張が見られました。バス内で自己紹介をしていると徐々に会話が増え、この三日間にとってもワクワクしている様子でした。バスで沢山喋り、一眠りした後は、いよいよ施設での活動がスタートしました。順調に進めていきたいところですが、前日から曽爾村の雲行きが怪しく、楽しみにされている”川遊び”が行えるかどうか、直前まで悩ましい天候でした。しかし施設の許可が下り、心配していた雲行きが嘘かの様に天候にも恵まれ無事に実施する事が出来ました。川遊びでは、集合時の緊張はどこへ？と思わされるぐらい、全グループが非常に楽しまれていました。【とにかく楽しむ！】という事以外にも【グループで写真を撮る】というミッションがあり、映えを意識した写真をグループで考えておられました。その様子には一日目にして『一体感』が感じられました。川遊び後は生活棟に戻り、シーツ敷き、食事、入浴を済ませ、お楽しみ”ナイトハイク”を行いました。ナイトハイクでは、夜道という事もあり、「暗い!」、「怖い!」といった声が聞こえて来ましたが、静かにしてみると“虫の音”“自然の香り”“風の音”等の普段の生活をしている環境では感じる事の出来ない、“曽爾村の自然”を感じられたと思います。プログラムを存分に楽しんだ後は、翌日のカレー作り、キャンプファイヤーに向けて体を休めて、ぐっすりと眠りました。



二日目： おはようございます！眠たい体を起こし、着替え、洗面、活動準備を済ませた後は、朝食飯作りから、外で活動します！朝食メニューは、“カートンドッグ”です。キャンプのお馴染みメニューなので、「お任せあれ!」という人や、「何それ?」というメンバーがおられました。その中で、リーダーが方法を教えずとも、自ら低学年のメンバーへ教えている人もおられ協力しようとする姿が伺えました。朝食作りが終わると、次は更にレベルアップした野外炊飯をおこないました。メニューは“カレー”です。こちらもお馴染みというメンバーはおられましたが、朝食とは違い、各々が自分の分を作るのではなく、グループで一つのカレーを作ります。カレー作りでは、グループの中で大きく分けて、三つの係に分けられます。その為、『協力』が必要になります。どの学年のメンバーも自分の役割を全うし、言葉で伝え合うことが出来ておられました。カレー作りを終えると、キャンプファイヤーで踊るダンスを覚えました。他にも体育館で遊んだり、部屋で休憩したりする等、各々次の活動までグループの時間を取りました。次はキャンプの最後の夜を全員で楽しむ“キャンプファイヤー”です。ファイヤー場に到着した途端、雷の音が聞こえ、「中止?」と心配しましたが、皆の思いが届いたのか雷の音もすぐに止み、終了まで無事に楽しむ事が出来ました。野外炊事後に覚えたダンスを踊ってキャンプファイヤーを締めくくりました。



三日目： 早くも最終日となってしまいました。起床後はすぐに、お世話になった部屋の掃除とシーツの片付け、荷物整理と、やる事が盛り沢山です。疲れて眠たい状況の中でも、【時間を守る】という目標に向かってテキパキと動いていました。三日目は、活動の一つ一つがこのキャンプでの集大成となります。退所の身支度をしてから食堂到着までは、少しタイトなスケジュールとなっていました。それでも時間通りに全員が動けたという事は、【みんなで生活をする】という点で、一日目よりも成長した様に感じました。食堂で朝食を済ませた後は、キャンプの思い出を絵に描いて、振り返る“思い出工作”をしました。思い出に絵を描き、一番印象深かったプログラムを振り返っていました。圧倒的にキャンプファイヤーの絵を描いている人が多く驚いたと共に、嬉しく思いました。出発前に昼食を済ませ、再びバスに乗り、尼崎へと向かいました。バス車内ではキャンプの疲れから寝静まっていた。帰りはあっという間に尼崎に到着しました。眠たい体を起こし、思い出が詰まった重たい荷物を持ち、解散場所へと向かいました。同じグループそして、キャンプを共にした夏まるかじりツアー②のメンバー、リーダーとお別れをし、それぞれ帰宅していきました。



<キャンプ総括>

この度は、『夏まるかじりツアー②』にご参加頂き、誠にありがとうございました。このキャンプは”THE・キャンプ！”といった内容が盛り沢山になっており、「キャンプといえば!？」と言われてすぐに思い付く様なプログラム内容となっております。だからこそ、キャンプの楽しさを感じ、更には非日常体験だからこそ発見できる自身の長所や短所、性格を見つめ直す事が出来たのではないかと思います。ご参加頂いたメンバーの中には、当キャンプで様々な事に挑戦して、成功する事が出来た人もいれば、失敗を沢山経験した人もいます。成功した事は今後の自信に繋げてみて下さい。失敗した事は、挫けず、今後も、日常生活において色々な事に挑戦する糧にして下さい。今後の活動やキャンプでもお会い出来る事を楽しみにしております。

(山川 一咲)